

では15日午前9時から、大師教会大講堂で降誕会法要が営まれ、正午か「が決まら、山内の目抜き通りである一の橋（金剛峯寺前）た。

広場の約2キロを1500人の行列が練り歩く、まつりのハイライト「花御堂渡御」が行われる。

渡御で山車に乗り、白い羽織に赤いはかまの千星装束姿で沿道の観客に絶えず起物の絵札をまく「散華」を行う。

寺報から
『築地本願寺新報』

清古

れたのは
県内在住
の金剛峯
弓佳さん

清光寺が本堂改修

新しく書き替えた。

島建設が担当。同社の島隆社長は「(明治の事を持掛けた) 4代目小島九右衛門に恥じないよう、先祖の思いと技を確かめながら仕事に当たった」と話し、100年後を見据えて改修に取り組んだという。

同寺の横井信之住職は「檀家が一丸となって修復事業に臨んでくれ感謝しかありません」。今後に

地本願寺新報は最新5月号で787号を数える。月刊で当初はタブロイド判4版の新聞形式だった。現在はA4判フルカラー10版の冊子で多い時は2万部を発行。1部100円だが、過去最高は無償配布について、「法然上人の念仏のみ教えの大切さを次代に伝えていくことが使命」と語っていた。

新数　観光客　築地訪問

た写真。明治43年以
来、約100年ぶりの改
修。小屋組みや床下の全
面的な改修で耐震性能を
強化したほか、屋根瓦も

については「法然上人の念仏のみ教えの大切さを次代に伝えていくことが使命」と語っていた。

を主催するの
宗派の合唱連
の武内和朋氏
者に迎える。

徒教化や伽藍・境内整備などの功績にも触れ、

田議長が立つた。園城絵
長は「数々の重要な局面

した節目の時期であるこ
とも強調。「これから

の態度を変える人ではなかつた。どんな時も父ら

御報次第
遠方にても

寺報から

し、参拝者や
手にしていく